

果樹類の植え付け時に注意するポイント

令和6年12月
香川県西讃農業改良普及センター

新植や改植時に、果実品質や栽培性に優れた品種を導入することで、収益性の向上が期待できます。その一例として、香川県オリジナルの果樹品種を紹介します。

詳しくはこちらから



- ・温州みかん：小原紅早生
- ・キウイフルーツ：香緑、さめきゴールド、香料、さめきエンジェルスイート、さめきキウイっこ®、**さめきエメラルド**（香川県オリジナルキウイフルーツの中で一番新しい品種）

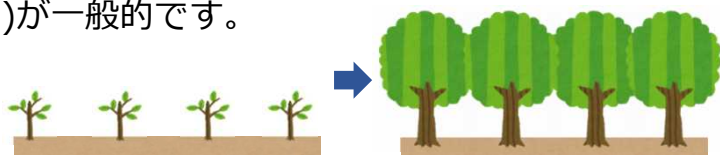
① 将来を見据えた間隔で植え付けましょう

植え付け時には、樹の間隔が空きすぎているように見えても、年数が経つにつれて樹冠は拡大します。

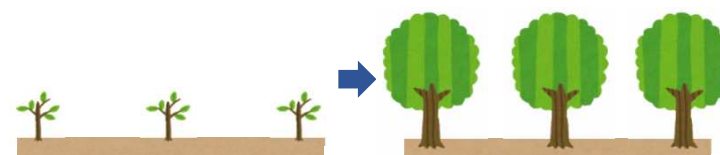
当初から十分な間隔を空けておくのか、初期には密植で成木までの収量を確保し随時間伐を行うのか（計画密植栽培）、

植え付け時点で方針を決めておくことが大切です。

成木時の植え付け間隔は土質等を考慮して決定する必要がありますが、早生温州みかんは200本/10a(2m×2.5m)、キウイフルーツは33本/10a(5m×6m)が一般的です。



隣同士の樹が重なりあっており、
間伐や縮伐を行わなければならない



植え付け時から十分な間隔を空けておくことで
間伐や縮伐を行わなくてよい

② 深植えに気を付けましょう

苗木の植え付け時期

落葉果樹：12月下旬～2月頃

常緑果樹：2月下旬～3月頃



○ 良い例

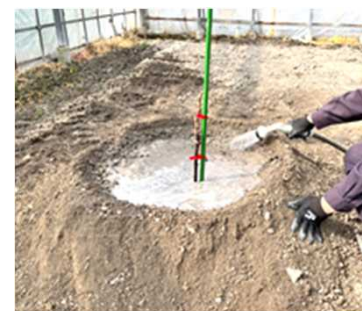


× 悪い例

- ・ **植え付けの1か月前まで**に植穴の準備をしましょう。植穴に完熟堆肥、苦土石灰、溶リン等を投入し、土と混和しておきましょう。
- ・ 植え付け準備が間に合わなかった場合は、苗木の仮植えを行きましょう。
- ・ 排水性を良くするために、植え付けする部分を**水平より高く**しましょう。
- ・ **接ぎ木部が余裕を持って地上面にできる程度**に植え付けし、深植えにならないように注意してください。

③ 支柱の設置、かん水を実施しましょう

- ・ 植え付けにあわせて、**支柱を設置**しましょう。設置をしていないと、強風などによって、苗木が折れたり傾いたりしやすくなります。
- ・ 苗木は天候に応じて**かん水**を行きましょう。



苗木は乾燥に弱く、
植え付け後にかん水を怠ったため
枯死した事例が多く存在します

